

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	メーキング基礎実習 I		授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。	
担当教員	伊藤、北山			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有 = 伊藤(ジュエリー作家) 北山(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-1(平打ち&甲丸リング制作)			
	内容	平打ちリングと甲丸リングの制作を通し、リングの基本的な制作プロセスと地金加工工具の取扱い方法を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-2(WAX月甲丸リング制作)			
	内容	ワックス素材を使用したリングの基本的な制作プロセスとWAX加工工具の取り扱い方法を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-3(ソリテールリング/ペンダント)			
内容	オーバルカボションの石を使用した覆輪(フクリン)石座のソリテールリングとラウンドCZを使用し4本爪留め石座のペンダントトップを制作			
メーキング基礎実習 I-4(パールジュエリーリサーチ)				
内容	真珠を使用したジュエリーのアイデア展開基礎を学ぶ			
履修上の注意事項	基本的な工具の使用方法、用途を理解し、それぞれの課題毎に習得する基礎技法を身に付けたうえで進めていくことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	メーキング造形実習 I		授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。リサーチプロジェクトでは、ターゲットに向けたジュエリー制作の為にリサーチ方法を習得していく。	
担当教員	伊藤、北山			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	472時間	単位数	15単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有 = 伊藤(ジュエリー作家) 北山(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	<p>メーキング造形実習 I-1(WAX造形)</p> <p>内容 WAX素材を使用し、立体造形の制作手順と表現方法を演習する メーキング造形実習 I-2(ブローチ制作)</p> <p>内容 透かした銀板を重ね合わせたオーバーレイ技法と、既製のブローチ金具を用いた制作 メーキング造形実習 I-3(パール ジュエリー制作)</p> <p>内容 淡水パールを使用した商品を企画制作する(企業協賛課題) メーキング造形実習 I-4(彫り留め)</p> <p>内容 彫り留め技法を使用したジュエリーを制作 メーキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション)</p> <p>内容 一年間で学んだ技術や技法を使ったオリジナルデザインリング制作 メーキング造形実習 I-6(ビルケース制作)</p> <p>内容 金属加工を利用したアイテム制作</p>			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	デザイン実習 I		授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解を習得していく。	
担当教員	北山、船越			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	192時間	単位数	7単位	到達目標 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝船越(ジュエリーデザイナー) 北山(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン実習 I-1(ジュエリーの基礎) 内容 iPadによるジュエリーデザイン(グラフィックソフト演習) 色彩学 デザイン実習 I-2(製図の基礎1) 内容 dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解/dr6質感表現1/dr7平打ちリング作図 dr8甲丸リング作図 デザイン実習 I-3(製図の基礎2) 内容 dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造の理解 dr12 1個石リングの表現 デザイン実習 I-4(デジタルドローイング) 内容 立体デザイン/観察スケッチ iPadの活用 デザイン実習 I-5(製図の基礎3) 内容 dr13 取り巻きリング デザイン実習 I-6(CAD) 内容 shapr3Dの演習と操作の理解 デザイン実習 I-6(CAD) 内容 編集ソフトを用いての編集方法			
履修上の注意事項	基礎的な描画技法の習得と適切な道具の使用が出来ていることが重要であり 市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である			
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	宝石学 I			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得していく。
担当教員	森			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	講義			
備考	実務経験有=森(宝石鑑定士)			
授業の計画展開	宝石学 I -1(カラーストーン) 内容 宝石学における、カラー石の基礎知識の習得			
履修上の注意事項	カラー石の基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率であることが重要である。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ		授業のねらい	
担当教員	伊藤、矢野尾		高級宝飾技法の習得と理解。高級宝飾に使われる石の留め方、素材を決められた図面に合わせ、制作できる技樹を習得していく。	
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標
開講期間	2024.4.1～2025.3			新たな加工法・素材と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 伊藤(ジュエリー作家) 矢野尾(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(工具制作、すり出し石座)			
	内容	宝飾工具の制作、ヤスリによるすり出し石座制作		
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(パヴェセッティング実習)			
	内容	パヴェセッティングによる石留め、ペンダント		
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(七宝実習)			
	内容	象嵌七宝リング、透胎七宝ペンダント制作		
メーキング基礎実習Ⅱ-4(プラチナ実習)				
内容			プラチナワイヤーワークの習得	
メーキング基礎実習Ⅱ-5(作品制作)				
内容			テーマに沿ったジュエリー制作のアイデア展開基礎を学ぶ	
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	メーキング造形実習Ⅱ		授業のねらい 宝飾の伝統技法(石留め、彫り)を用いた作品制作を通し、技術向上及び社会的提案力を習得していく。
担当教員	伊藤、矢野尾		
対象学年	2年		
単位区分	必修		到達目標 技術の習得とプレゼンテーション能力の向上を目標とする。
授業時数	512時間	単位数 15単位	
開講期間	2024.4.1～2025.3		
授業形態	実習		
備考	実務経験有 = 伊藤(ジュエリー作家) 矢野尾(ジュエリーデザイナー)		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(洋彫りリング作品制作)		
	内容	洋彫り、リング成形	
	メーキング造形実習Ⅱ-2(K18カクテルペンダント制作)		
	内容	K18線材を使用した様々な石のワイヤーセッティングペンダントを制作	
	メーキング造形実習Ⅱ-3(作品制作)		
授業の計画展開	内容 テーマのリサーチ、プレゼンテーションの演習		
	メーキング造形実習Ⅱ-4(作品制作)		
	内容 石留めを用いたジュエリー制作		
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。		
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	『ジュエリーバイブル』		

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ		授業のねらい	
担当教員	北山、鷺本		1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく。 また、市場動向や指定テーマに基づき、表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる技術を習得していく。 さまざまな講義から自身の今後の可能性を探る。	
対象学年				
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標
開講期間	2024.4.1～2025.3			モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成することを目標とする。また、モノづくりに関連した講義により自分が取り巻く身近な事と歴史や社会問題を結びつけて考察することを目標とします。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 鷺本(マナー講師) 北山(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(プレゼンテーション) 内容 取り巻きリング、サイドメリング マリッジリング、エンゲージリング プレゼンテーション基礎			
	デザイン造形実習Ⅱ-2(セットジュエリー) 内容 セットジュエリーデザイン ジュエリーブランド研究 ショッピングリサーチレポート			
	デザイン造形実習Ⅱ-3(企業連携特別課題) 内容 市場動向にあわせたオリジナルブランド考案			
	デザイン造形実習Ⅱ-4(デジタルポートフォリオ) 内容 PCを使ったポートフォリオの作成			
	デザイン造形実習Ⅱ-5(リフォーム) 内容 ジュエリーリフォームの習得			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	宝石学Ⅱ			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得していく。
担当教員	森、加藤			
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	講義			
備考	実務経験有=森、加藤(宝石鑑定士)			
授業の計画展開	宝石学Ⅱ-1(ダイヤモンド) 内容 宝石学における、ダイヤモンドの基礎知識の習得			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率であることが重要である。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	メーキング造形実習Ⅲ		授業のねらい 日本の伝統技法を習得し、三学年を通じた技術を活用しながら、社会的発信力を習得していく。	
担当教員	村瀬、濱崎			
対象学年	3年			
単位区分	必修			
授業時数	744時間	単位数	23単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有 = 村瀬(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	<p>メーキング造形実習Ⅲ-1(七宝ペンダント)</p> <p>内容 七宝によるオリジナルジュエリー</p> <p>メーキング造形実習Ⅲ-2(デザインプロジェクト)</p> <p>内容 テーマからのリサーチ、考察からジュエリー制作</p> <p>メーキング造形実習Ⅲ-3(卒業制作リサーチ)</p> <p>内容 作品制作におけるアイデア展開演習</p> <p>メーキング造形実習Ⅲ-4(卒業制作)</p> <p>内容 作品制作、展示会開催</p> <p>メーキング造形実習Ⅲ-5(伝統技法実習)</p> <p>内容 木目金、サンドキャスト技法によるジュエリー制作</p>			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	デザイン造形実習Ⅲ		授業のねらい 3年目の集大成として、立体造形物ではなく、平面上で自身のアイデアや提案を自由に表現出来るように技術を習得する。	
担当教員	北山、森、武田			
対象学年	3年			
単位区分	必修			
授業時数	248時間	単位数	7単位	到達目標
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			ジュエリーで表現できる新しい価値観を体験し、つくり方に関する情報をリサーチし、提案・制作出来る技術習得を目標とする。 また、モノづくりに関連した講義により自分が取り巻く身近な事と歴史や社会問題を結びつけて考察することを目標とします。
備考	実務経験有 = 森(宝石鑑定士) 武田(販売レクチャー講師)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(リサーチ) 内容 外部ジュエリーコンペティション出品 伝統工芸及び伝統産業のリサーチ&プレゼンテーション			
	デザイン造形実習Ⅲ-2(コンテスト) 内容 外部コンテスト出品			
	デザイン造形実習Ⅲ-3(リサーチ2) 内容 ブランディング及びプレゼンテーション			
	デザイン造形実習Ⅲ-4(リサーチ3) 内容 自己ブランドの販売の振り返りとプレゼンテーション			
	デザイン造形実習Ⅲ-5(ハイジュエリー1) 内容 テーマに沿ったハイジュエリーのリサーチ			
	デザイン造形実習Ⅲ-6(ハイジュエリー2) 内容 コスト別ハイジュエリーの提案及び			
	デザイン造形実習Ⅲ-7(宝石学カラーストーン) 内容 テーマに沿ったハイジュエリーのリサーチ及びプレゼンテーション			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 クリエイティブジュエリーコース

科目名	コンピューター演習		授業のねらい CADソフトにてデータを実際に加工可能な精度で作成。 造形出力までの一連の流れを習得	
担当教員	船越			
対象学年	3年			
単位区分	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ジュエリーデザインをCADソフトでデータ作成し、実際に造形することを 目標とする
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	演習			
備考	実務経験有＝船越(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	コンピューター演習Ⅲ-1(CAD造形リング)			
	内容	オリジナルデザインの造形データを作成し、造形機による実際の原型リングを制作		
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			